

## 建築計画・施設設計における基本方針について

香北地域らしい保育を提供する新園舎の施設整備を目指し、香北地域の財産である「自然」「地元力」「子育て力（子育てセンターびらふを想定）」の活用を踏まえて次の点を基本方針として計画を検討します。

- (1) 充実した保育を提供できる施設
  - ・職員、園児、送迎する保護者等のスムーズな動線が確保された施設とします。
  - ・十分な収納スペースを確保し、保育をスムーズに提供できる施設とします。
  - ・保育における多様なニーズの変化に対応できる柔軟性を持った施設とします。
  
- (2) 子どもにとって魅力のある施設
  - ・子どもたちがワクワクし、探究心を育むことができる施設とします。
  - ・発達過程に配慮し、子どもがともに育ちあえる施設とします。
  
- (3) 安全で安心して利用できる施設
  - ・子どもの遊びや生活におけるリスクに配慮した施設とします。
  - ・見通しが良く、死角のない施設とします。
  - ・食育の推進やアレルギー対策など、衛生・健康に配慮した施設とします。
  - ・地震や火災など、災害時の安全性を確保した施設とします。
  
- (4) 地域がよってたかって子どもを育む施設
  - ・大宮小学校や香北中学校と連携し、国際バカロレア（IB）教育への橋渡しとなる施設とします。
  - ・「地元力」を活かし、家庭・地域とともに愛され、地域を愛する子どもを育む施設とします。
  
- (5) 「子育て力」を育む拠点となる施設（子育てセンターびらふを想定）
  - ・子育てに係る多様なニーズに応え、「子育て力」を育む施設とします。
  - ・未就学児の子どもをもつ家庭と地域をつなぐ、架け橋となる施設とします。
  
- (6) 豊かな「自然」を活かした施設
  - ・豊かな「自然」環境を取入れ、さまざまな遊びができる施設とします。
  - ・森林資源を活かし、木の温もりが感じられる施設とします。
  
- (7) コスト縮減や維持管理に配慮した長寿命な施設
  - ・地域産材等を活かしつつ、整備コストの抑制を図った施設とします。

- 日々のメンテナンスを考慮し、維持管理しやすい施設とします。
- 長く使用できる長寿命な施設とします。